

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人

明星会

目 次

1	法人本部の事業報告	1	P
2	法人事業所の運営報告	5	P
	◎明星学園・第二明星学園・グループホーム		
	○主な事業の実施状況	6	P
	○利用者の健康管理と保健衛生	9	P
	○利用者の食生活健康管理	12	P
	○広報・職員研修等	15	P
	◎指定特定相談支援事業所	20	P
	(明星学園一番星、第二明星学園一番星)		
	◎明星保育園		
	○主な事業の実施状況	21	P
	◎明星会 社会貢献事業	31	P
	◎資料		
	法人の事業所の概要	30	P
	職員の状況	34	P
	利用者・園児の状況	36	P

令和元年度 法人本部 事業報告

1 基本理念

《 みんな幸せになりたい あなたも私も 》

社会福祉法人明星会は、地域において、乳幼児保育を担う明星保育園（定員 120 名）と障がい者支援（特に知的障がい者及び自閉症者支援）を担う明星学園等（定員 110 名）を運営する福祉機能体である。

事業所全ての職員が、利用者の方々の“幸せになりたい”をかなえようとする実践を通して、職員自身や利用者の家族、そしてそれを囲む地域までもが幸せになっていく姿を具現化するべく研鑽を深めている。きめ細やかな観察力、知識と経験と正しい人権意識に裏打ちされた係わり、法人、利用者、職員、家族を貫く信頼感、それら無くしては、“幸せになりたい”の実現はない。誰もが（年齢が低かろうが高かろうが、障がいがあろうが無かろうが）幸せになりたい主体として、認め尊重され、個々に異なる幸せを安心して希求できる存在として浮かび上がらせることが我が法人の使命である。

2 法人が行う事業

第一種社会福祉事業	障がい者支援施設	明星学園・第二明星学園・グループホーム
第二種社会福祉事業	保育所	明星保育園
	指定特定相談支援事業	明星学園一番星、第二明星学園一番星

3 事業の総括

令和元年度度は、以下の事項を法人の重点として取組み、概ね達成できたものと考えています。

- (1) 社会福祉法人制度改革法に沿った適正な法人運営
- (2) 支援の基本姿勢
- (3) 職員の資質向上・利用者支援、保育の充実
- (4) 地域との交流
- (5) 安全・安心の確保
- (6) 第三者評価の導入

3 法人役員（令和2年3月31日現在）

理事長	宮下 智					
理事（6名）	下平 薫	原 久	宮下真知子	木下ひろみ	坂井 元信	
監事（2名）	福澤 茂雄	大島 英嗣				
評議員（8名）	菱田 博之	矢澤 英峰	北林 正直	原 正光	青木 公子	
	西村 礼史	中島 武津雄	松澤 陽子			

4 会議の開催状況

理事会	第1回	令和元年5月2日	
	内容	明星保育園保育室等改修工事請負契約等	
	第2回	令和元年5月31日	
	内容	平成30年度事業報告・決算報告案 定款の変更案、役員選任等	
	第3回	令和元年6月24日	
	内容	理事長選任、明星保育園改修工事請負契約等	
評議員会	第4回	令和元年8月20日	
	内容	評議員の推薦、給与規程改正等について	
	第5回	令和元年11月19日	
	内容	補正予算等について	
	第6回	令和2年3月2日	
	内容	令和2年度事業計画・予算案等	
評議員会	第1回	令和元年6月24日	
	内容	平成30年度事業報告・決算報告案、定款変更等	
	第2回	令和元年12月24日	
	内容	補正予算案等	

5 財産取得・施設整備（主なもの）状況

○明星保育園

保育園全面改修工事 工期 令和元年6月27日から12月24日
事業費

設計業務	5,400千円
監理業務	2,937千円
改修工事費	180,609千円（増工含む）

・目的及び事業内容

アスベストのない保育所、保育環境の整備

・効果

新築同然の保育所になり、保育環境が向上した。

●工事説明会等

保護者説明会	令和元年 4月11日	令和元年6月15日
近隣説明会	令和元年 6月26日	
保護者向け完成見学会	令和元年12月20日	

- 健康対策実施要項説明会（一般社団法人健康対策機構設立 令和元年7月17日）
 - 平成30年度工事説明会 令和元年10月 1日
 - 平成24年度工事説明会 令和元年12月11日

○明星保育園

やま保育事業整備

やま保育（自然保育活動）フィールド等整備事業によりトイレを設置した。
事業費 1,296千円

○明星学園

第二有朋寮、居室防音等改修工事

工事費 550千円

・目的及び事業内容

外部からの刺激を少なくし、安定した生活を過ごせるように居室を改修する。
居室の改修、ドア、壁、窓等を改修する。

・効果

利用者が安定し生活がおくれるようになった。

○明星学園

第二有朋寮 ピュアウォッシュ設置工事（除菌・消臭・加湿機）

本体費 1,565千円

給水工事 132千円

保護柵設置 192千円

・目的及び事業内容

ロビー等生活空間の環境整備

・効果

消臭効果、殺菌、加湿の効果がありより、良い環境となった。

○明星学園

職員駐車場整備

工事費 1,400千円

・目的及び事業内容

体育館裏側の土地が農地から外れたことから職員駐車場を整備した。

○第二明星学園

有隣寮個室化等改修工事

工事費（一回目） 9,504千円（虹組、職員室、利用者個室3部屋）

工事費（二回目） 4,840千円（宙組、職員室、虹組利用者個室3部屋）

アスベスト調査費 561千円

・目的及び事業内容

虹組利用者の個室化 合計6部屋増設

元事務所を職員室に改修、雪組・宙組の分割のため職員室の改修

・効果

利用者個人の生活空間が確保された。

雪組・宙組のクラス分割ができた。

有心寮、全居室の鍵取付工事

工事費 866 千円

・目的及び事業内容

利用者のプライバシー保護及びマスターキーシステムの導入

・効果

利用者個人が所有し、施錠ができ他人が居室に入ることがなくなり、安心した生活ができる環境になった。

職員は必要な時、マスターキーでどの居室も解錠・施錠ができる。

有心寮、スロープ設置工事

工事費 950 千円

・目的及び事業内容

非常時に通常の出入り口から非難が困難な利用者（車椅子）のために、スロープを設置した。

その他 有隣寮、厨房配管改修工事

工事費 1,529 千円

・目的及び事業内容

給水管老朽化による改修工事

○備品購入費

厨房関係 冷凍庫 1,347 千円

温蔵庫 412 千円

製氷機 168 千円

その他

発電機 330 千円

パソコン 1,327 千円 (7台)

中古車 (送迎用) 477 千円

令和元年度 法人事業所の運営報告

1 明星学園・第二明星学園

<運営方針>

「明星学園10年構想～グランドデザイン～」を見据え、どんなに障がいが重くても、地域社会で「主体的に生きる」ことによって自己実現が満たされることを目指し、「コミュニケーション支援」、「自己確立と自己実現の支援」、「社会参加への支援」を行ってまいりました。

<基本方針>

理念・憲章・行動基準

【憲章】

本当の気持ちを伝えられずに困っている知的障がい・自閉症の方に、「パーソンセンタード」(本人中心)を基本とした、行動すべてが発信であるという「お心主義」の信念で、「意思決定支援」を実践する、あなたも私も幸せになる場所です。

【行動基準】

- ①笑顔で明るいあいさつを、自分から先にします。
- ②利用者の目線で安全を考え、健康や環境に異常を感じたらすぐに報告し対応します。
- ③どんな小さな発信も受け止め、対等、肯定の姿勢で、意思決定をサポートします。
- ④職員同士で報・連・相を行い、お互いを認め、助け合うチーム支援をします。
- ⑤家族や地域に情報発信し、情報共有します。
- ⑥関わるすべての人に「ありがとう」「助かったよ」を伝えます。

<支援方針>

①施設入所支援

- ・「お心主義」に基づくパーソンセンタードな支援とプログラムの提供
- ・「自己選択」を尊重した意思決定支援の実施
- ・利用者の心身機能低下に注意し、より個別的な医療・介護の支援の実施
- ・利用者の希望に沿った旅行実施
- ・余暇活動、地域行事などに積極的に参加
- ・保護者と連携し、保護者会活動が継続、発展するよう協力
- ・利用者が家族と円滑な交流が継続できるよう支援、家庭との懇談会を実施

②生活介護

- ・利用者個々のニーズを把握し、個別支援計画に沿ったサービス提供
- ・季節感のあるサービスの提供(お花見、秋まつり、餅つき大会、どんど焼き等)

③日中活動の充実

- ・言語聴覚士(S T)巡回指導、理学療法士(P T)巡回指導、アート活動、運動療法、音楽療法、アロママッサージ、アニマルセラピー、作業プログラム(生産活動)、ウイークエンドシアターなどの実施

④利用者の希望や要望に応じた、外出、外食、買い物の実施

◎主な事業の実施状況（別紙① 年間報告書参照）

明星学園・第二明星学園

○利用者外出　マイクロドライブ　各クラス月1回（冬季は休止）

○利用者旅行（小グループに分かれて実施）

星組　7回

・一泊旅行

5/29～30 東京ディズニーランド　6/10～11 名古屋市

7/4～5 静岡県沼津市　9/9～10 名古屋市

11/18～19 静岡県御殿場市

・日帰り旅行

7/9 松本市　8/26 松本市

月組　8回

・一泊旅行

5/27～28 名古屋市　6/23～24 静岡県沼津市

7/11～12 山梨県富士山周辺　8/6～7 大阪 USJ

9/13～14 東京都内　11/11～12 白樺湖畔

・日帰り旅行

9/30 名古屋市　11/24 名古屋市

雪組　8回

・一泊旅行

6/5～6 静岡県御殿場市　7/23～24 静岡県大井川鉄道

8/8～9 名古屋野球観戦　9/5～6 東京野球観戦

10/15～16 京都市　10/31～11/1 名古屋市

・日帰り旅行

9/26 富士急ハイランド　11/14 茅野市

宙組　9回

・一泊旅行

6/20～21 東京スカイツリー　7/25～26 静岡県浜松市

8/29～30 静岡県大井川鉄道　9/18～19 山梨県河口湖畔

10/21～22 山梨県甲府市　10/23～24 岐阜県土岐市

11/6～7 東京ディズニーランド

・日帰り旅行

5/31 名古屋市　10/2 岐阜県中津川市

虹組　13回

・一泊旅行

- 5/16～17 東京ディズニーランド 6/18～19 大阪市
7/17～18 東京ディズニーランド 8/22～23 名古屋野球観戦
9/25～26 東京ディズニーランド 10/11～12 京都市
11/21～22 三重県志摩市 12/10～11 大阪 USJ
1/21～22 東京都内 2/12～13 東京ディズニーシー
- ・ 日帰り旅行
7/12 大町市 10/23 山梨県笛吹市
3/30 学園内にて食事等を楽しむ（コロナウィルス対応）

○療法関係（外部講師）

- ・ 音楽療法[音楽（歌、楽器）を通して聴覚・視覚への感覚を高め情緒の安定・開放を図り音楽を楽しむことを目的としている]
76回（4月6回、5月7回、6月6回、7月7回、8月7回
9月6回、10月7回、11月6回、12月6回、1月6回
2月6回、3月6回）
- ・ 動作法[臨床動作法の専門講師により実施、弛緩動作、緊張動作のコントロールを学ぶ、動作のやり取りによって意欲を引き出し、心の活動の改善を図る]
27回（4月2回、5月2回、6月4回、7月1回、8月1回、9月2回、
10月2回、11月3回、12月3回、1月2回、2月3回、3月2回）
- ・ 理学療法士（PT）巡回指導
[心身機能の変化に伴い生活リハビリや車いす等、環境に対する調整などの指導を受け支援に生かす]
年間12回（毎月1回）
- ・ 言語聴覚士（ST）巡回指導
[口腔ケア、食事支援等の指導を受け支援に生かす]
年間12回（毎月1回）
- ・ アート活動
[外部講師によるワークショップを実施。絵画やアート作品の制作を通して自己表現、気持ちの開放を図る]
42回（4月2回、5月2回、6月4回、7月4回、8月2回、9月4回、
10月4回、11月4回、12月4回、1月4回、2月4回、3月4回）
- ・ アロマセラピー
[専門講師によるアロマオイルを用いてのマッサージの指導を受け、体と心を癒す。
コミュニケーションを深めるために役立てる]
12回（毎月4回）

・のびのびムーブ

[外部講師による運動療法により、高齢化による体力減少の防止のため機能訓練を図る]

28回(4月2回、5月3回、6月2回、7月2回、8月3回、9月2回、
10月3回、11月2回、12月2回、1月3回、2月2回、3月2回)

・スポーツレクリエーション[フラダンス教室、大道芸体験、フライングディスク体験]
4回(7月1回、8月1回、9月1回、11月1回)

○余暇活動

・わくわくハピネス 利用者が考えた行事

月1回 飛び出すカード作成、パン、スコーン、うどんなどの調理
かざこしこどもの森公園 かざこしなかまの館(体験工房)等

・料理 [わくわく調理室にて実施]

131回(5月1回、6月4回、7月2回、8月4回、9月2回、10月10回、
11月15回、12月32回、1月17回、2月23回、3月21回)

○主なイベント

- ・アート夏フェスタ 8/20
- ・明星きらめき祭、50周年記念式典 10/27
- ・クリスマス会 12/22
- ・どんど焼き 1/15

○各種スポーツ大会等

県障がい者スポーツ大会 9/8 松本平広域公園陸上競技場 利用者11名
飯伊地区ゆうあいレクリエーション大会 9/30 阿南町民体育館 利用者12名

○利用者の自治会活動

「しらかば会」 毎月1回
「なかよし会」(グループホーム自治会) 毎月1回

○地域交流

- ・緑ヶ丘中学校 9/7 交流会 生徒15名
9/17 緑樹祭
- 11/23 交流会 生徒15名
12/7 交流会 生徒5名
- ・東中学校 11/16 おもしろプラン 生徒13名
- ・旭ヶ丘中学校 9/27 かやの木祭
- ・明星保育園 5/21 いも苗植え
9/9 いも草取
10/10 いも収穫

・短期大学

- 施設実習 3/9～3/20 (上田女子短大)
8/19～8/30、2/24～3/6 (松本短期大学)
9/2～9/13、2/10～2/21 (信州豊南短期大学)

・大学

- 体験実習 8/30 愛知淑徳大学

・生産物販売(主なもの)

- 5/5 かざこしクラフトマーケット (かざこしこどもの森公園)
6/25 飯田市役所
7/20 明星保育園夏祭り
7/28 ボランティア広場 (飯田社会福祉協議会)
8/15 駄科夏祭り
9/17 飯田合同庁舎
10/20 飯田女子短大アカシア祭
11/9、10 竜丘文化祭
11/9、10 伊賀良文化祭
2/2 駄科地区文化祭
2/4 飯田合同庁舎

○「本当の気持ちと出会うとき」基金関係

- ・利用者、職員の芸術活動並びに職員の研究活動への奨励
利用者芸術作品3名 ・職員芸術作品3名 ・職員研究活動1名
に対する褒賞(賞金)を実施(R2.4)

○第三者評価(グループホーム)

- 評価機関 一般財団法人 しなの福祉教育総研(上田市)
実施期間 11月3日 利用者調査
11月15日 訪問調査
3月20日 評価結果発表
対象者 北方のぞみハイツ・北方日の出ホームの利用者10名
世話人等14名、職員12名
評価結果 概ね良好

◎明星学園利用者及びグループホーム利用者の健康管理と保健衛生

障がいのある方が、そのライフサイクルの中で健康で生き生きとした人生を過ごすには医療との連携が欠かせません。

令和元年度、学園では保健事業として

1. 年に一度利用者健診（採血、尿、胸部レントゲン）
 〃 歯科検診
2. 毎月 嘱託医師（前沢医院）の往診
3. 飯田市が施行する風疹抗体検査、風疹ワクチン（対象者）
4. インフルエンザ予防接種

利用者の健康管理

① 定期健診等

・利用者集団検診	年1回	・内科往診	年2回
・定期歯科検診	年1回	・定期往診	年4回
・歯磨き指導	年1回	・血圧測定	毎月
・身長	年1回	・体重測定	毎月
・乳癌検診	希望者	・胃がんリスク検査	年1回

利用者の多くが疾病をもっています。

② 疾病等の状況

（単位：人）

心臓疾患	7	腸閉塞	1	統合失調症	5
高血圧	12	人工肛門	1	胆のう炎胆石	4
胃潰瘍	3	痛風	3	未熟児網膜症	1
貧血	6	先天性表皮水泡症	1	先天性全盲	6
脳腫瘍後遺症	1	胆癌	1	緑内障	1
脳膜炎	1	乳癌	2	ダウン症	4
くも膜下出血	1	脊椎欠陥	1	白内障	4
脳内出血	1	小頭症	3	視覚障害	8
糖尿病	6	白血病	1	アレルギー	1
バセドウ氏病	1	脳性小児マヒ	14	ソケイヘルニア	2
若年性関節リュウマチ	1	睾丸癌	2	肢体不自由	9
高コレステロール血症	10	てんかん	47	アレルギー性鼻炎	6
慢性腎不全	1				

利用者の入院人数はほぼ例年どおりです。

疾病別では、骨折、肺炎が増加しています。

③ 入院状況

（単位：人）

誤嚥性肺炎	2	内科	てんかん発作	1	精神科
左足関節内踝骨折	1	内科	胃腫瘍切除	1	内科
左大腿骨骨折	1	整形	膿胸	1	内科
心不全	1		肺炎	3	内科

令和元年度 11人 （平成30年度 10人）

利用者が通院することが増えてきています。

④通院（疾病）状況（単位：延べ人数）

精神科	40	泌尿器科	21
内科科	194	整形外科	62
外科	28	形成外科	2
皮膚科	18	脳外科	4
婦人科	8	耳鼻科	3
歯科	332	救急	3
眼科	14	神経内科	10
循環器	12	計	751

令和元年度 751人 平成30年度 553人

⑤定期処方者の状況

飯田病院 精神科	71名	定期内服処方 延べ	584名
前沢医院 内科	35名	定期内服処方 延べ	420名
循環器	2名	定期内服処方 延べ	12名

⑥往診の状況

元年度はありませんでした。

⑦検診結果 要受診以上（単位：人）

腎機能	3	貧血	2
胸部レントゲン	1	脂質	2
肝機能	1	糖代謝	1

⑧感染症状況

インフルエンザ感染	虹組	年末～年始	11名
	雪組・宙組	1/24～1/31	21名
		合計	32名

居住棟が分かれており、発症したクラスを封鎖することで、各クラスに飛び火することが無く、大規模に広がることはありませんでした。

⑨介護の状況（単位：人）

車イス	18	排せつ介助	74
視覚障害	6	口腔ケア	90
食事介助（全介助）	20	入浴介助	101

今後の健康管理について

⑩令和2年に向けて

・血液検査項目を見直して、追加します。

WBC（白血球） BC（糖）

BUN（尿素窒素） CRE（クレアチニン）
UA（尿酸）

- ・50歳以上の男性にPSA（前立腺腫瘍マーカー）を追加します。
- ・電動歯ブラシを使用して歯肉炎、歯槽膿漏を予防します。

◎利用者の食生活健康管理

当学園を利用している方は年齢、体重、作業状態、病弱等で摂取量について幅広く献立表を3通りのグループに分けて作成し、総エネルギーを算出している。なお、アレルギー食、刻み食等は必要に応じて献立し、療育の効果を上げている。

施設の利用者の特性としてシンプルでわかりやすい普遍にして不変なる料理を好む傾向にあるのでそういった献立を考え提供するようになっている。新メニューを提供する際も鰯の煮つけ等によく聞く料理にしている。当学園の方針として家庭的な食事環境の設定等、趣向をこらし、かけがえのない人生の喜びが食事を通して彷彿として湧出するよう心掛けている。

利用者の特性により、提供する給食が食べられない方には、クラスでミキサー食や、ハンバーグ等のその人が食べられるものを購入して食べている。こういった方々の栄養計算も行い助言をしている。

平成29年より開始した利用者にわかりやすく献立を掲示するために調理品を撮影しホワイトボードにその日の献立写真を貼る作業の改良を行う。クラス職員の業務量が減少し、よりわかりやすく正確に献立内容を伝えられるようになり日々の楽しみとなっている。

当学園は各クラス5つの組織が4つの建物に分かれているため食数の伝達にタイムラグや齟齬が発生することがあるため5年以上続いた食事計算を見直すこととした。PC上に簡便な記入システムを作り令和元年6月より開始したところ、今までの食数計算誤りが8割減り業務省力化となった。

<行事食>

季節に合った食事を提供しています。主な行事食は次のとおりです。

日付	内容	献立
5月5日	端午の節句	昼：サラダ巻き・稲荷寿司 茶碗蒸し 天ぷら（えび・ピーマン・ごぼう） 菜の花わさび和え・清汁・ 奈良漬 間食：よもぎまんじゅう
8月14日	盆	昼：梅御飯 天ぷら（なす・えび・ピーマン）

		大根田楽 きゅうりの粕もみ メロン すまし汁 間食:てんぷらまんじゅう
9月22日	秋のお彼岸	おはぎ(あんこ・胡麻・きなこ) 天ぷら(ナス・ピーマン・えび) 大根そぼろ煮・吸い物 ほうれん草お浸し・奈良漬け・
10月28日	秋の遠足	松茸風味御飯・唐揚げ・キャベツの 千切り 海老フライ・ツナじゃが煮 ウイナー・菜の花わさび和え・ 黒豆、厚焼き玉子、お茶
11月6日	明星きらめき 祭(出店)	明星学園のカレーライス 三元豚のかつ丼 栄養士特製唐揚げ 具たくさん豚汁
12月9日	もちつき大会	おしるこ・お雑煮・大根田楽 ブロッコリー和え・みかん・漬物 牛丼の具(餅食べない人)
12月22日	クリスマス会	エビピラフ or ミートソースパゲティ モミの木型ハバーク・豚の角煮 大きめエビフライ・ポテトサラダ 唐揚げ・ポトフ風 ブロッコリー・星型人参・カップゲラタン お茶・ケーキ オレンジジュース・ビール・日本酒(希望者)
12月31日	年越し	御飯・胡瓜の粕もみ・鮭刺身 すき煮・昆布巻き・黒豆 そば汁・みかん・きんつば 温泉卵・林檎・田作り(希望者)
1月1日	正月	昼:御飯・エビ天・ピーマン天・鮭刺 身・黒豆 紅白蒲鉾・伊達巻・なます・栗甘露 煮・干し柿・雑煮汁 夕:赤米御飯・豚生姜焼き・野菜の 煮物

		数の子・白菜レモン風味和え・味噌汁
1月2日	正月	天ぷらとろろうどん きのこソテー オクラなめたけ和え みかん
1月15日	どんど焼き	菜飯・鮭の酒蒸し・厚焼き玉子・五色なます 雑煮風汁
2月3日	節分	エビ天とかき揚げ 太巻き・いなり寿司 茶碗蒸し・菜の花わさび和え すまし汁・みかん
3月3日	ひな祭り	ちらし寿司・ 天ぷら(エビ・ピーマン) 茶碗蒸し・清汁・桃クレープ 菜の花なめこ辛子和え
3月20日	春のお彼岸	ぼたもち(きな粉・胡麻・あんこ) えび天・ピーマン天 ごぼう&人参天 ふきの煮物・ 小松菜のピーナッツ和え 漬物・吸い物

多くの利用者は、普通の食事を提供していますが、きざみ食等の特別食の提供が必要な方が徐々に増えてきています。

<特別食>

内 容		人 数
主 食	一 般 食	101
	お 粥	1
副 食	普 通 食	79
	粗 刻 み 食	8
	細 刻 み 食	10
特 別 食	アレルギー食	1
	ムース・ソフト食	4

◎広報・職員研修等 (明星学園／第二明星学園)

・広報活動

機関紙発行「プリズム」 1,500部作成 年2回(8月、2月)
配布先 関係機関350 学園関係300(法人役員、保護者、職員)
地域住民(伊賀良地区600、竜丘地区230、地元新井原20)
へ配布

ホームページ運用

学園のホームページを活用し、情報を提供
ブログで出来事を掲載
1年間 142掲載 閲覧数 20299件

・職員研修等

明星学園主催の「療育研究会」「臨床動作法飯田月例会」等、研修の機会を設けた。

- ・療育研究会 4回(6/7、7/26、8/31、2/22)
- ・動作法月例会 9回(5/12、6/2、7/7、9/1、10/6、11/3、1/12、2/2、3/2)
- ・介護研修 8/7、23
- ・合同ケース研究会 2/22

・各委員会(必要に応じ随時開催)

委員会	目的・実施事項	開催回数
運営会議	・通常の運営に関する最高決議機関としての役割を持つ。 ・毎月の行事予定等の日程調整、各クラスの情報の共有、経営に関する課題や緊急性のある問題等を事務局と一体となって検討。	月2回
人権倫理	・人権侵害に関する書籍、資料を使って知識を深め、障がい者の人権に関する問題について検討。 ・最近では、ハラスメントについての勉強会を行なった。	月1回
衛生	・衛生に関する書籍、資料を使って知識を深め、職員の労働安全衛生に関する問題について検討 ・ストレスチェックの立案と結果に対する分析などを行った。	月1回
人材育成	・職員の育成を図るため療育研究会、虐待防止研修、新人研修などの内部研修、県知障協や長野県などが主催する外部研修計画の立案を行った。	月1回
虐待防止	・内部での虐待事案及び疑いの報告があった場合に調査、審査を行い、報告をする。 ・2件の虐待通報の対応を行った。	都度
広報	・「明星学園だより」「ホームページ」及び「ブログ」の編集・発行等広報事業の企画、実施	月1回

相談支援 企画運営	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリングの計画、進捗状況の確認。 ・研修、行政からの連絡事項の周知。 	月1回
リスクマネージメント	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスを提供する過程における事故の未然防止ヒヤリハット、苦情、事故報告等に適切な対応を行う。 	月1回
業務改善	<ul style="list-style-type: none"> ・学園の業務内容を検討し、働きやすい環境に改善業務の効率化を検討し、利用者の支援がより手厚くなることを検討。 	都度
施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・学園の将来に向けて施設整備の検討各部署から修繕等の協議を行う。 ・居室の個室化、スロープの設置などを協議した。 	月1回
防火防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・学園の防火防犯に努める。 ・毎月の避難訓練等を実施し、非常時に備える。 	月1回

・各係会（必要に応じ随時開催）

係り名	目 的	開催回数
衣類係	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の衣類寝具等の管理 	都度
衛生係	<ul style="list-style-type: none"> ・学園全体の美化、ごみの分別、可燃物搬出 	月1回
保健係	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の健康管理、 	月1回
ボランティア係	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアへの対応、地域との交流 	都度
外部販売係	<ul style="list-style-type: none"> ・作業にて製品化された作品、製造品の販売 	都度
地域交流係	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校等との交流計画の実施 	都度
実習生係	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士養成校からの実習受け入れ 	都度

・苦情・虐待・ヒヤリハットに関する件数

令和元年度 苦情・事故・ヒヤリハット件数一覧

	クラス	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度比	
明星	月	虐待				(2)									0	-2	
		苦情			1		1		(1)						2	+1	
		事故	6(2)	7(1)	3	3(1)	1	7	2	2	8	5(2)	1	5	50	+42	
		ヒヤリ	10	23	37	37	34(2)	34(8)	19(18)	14(6)	3(2)	4(1)	2		217	+180	
	星	虐待									1				1	+1	
		苦情		(1)								1	1		2	+1	
		事故	10(3)	11(2)	2(9)	5(14)	3(11)	7(15)	6(13)	4(20)	9(10)	4	11	10	82	-15	
		ヒヤリ	14(2)	13	8	19	2	46	29(43)	16(38)	15(10)	22	27	8	219	+126	
第二明星	虹	虐待													0		
		苦情				1(1)	1	1					1		4	+3	
		事故	1(5)	5(5)	4(3)	5(2)	1(2)	3(2)	(4)	(5)	(5)	(2)	(2)		19	-18	
		ヒヤリ	2	4(2)	5(3)	2(5)	5(5)	1(15)	2(50)	(20)	(4)	(6)	(8)	3	24	-94	
	雪	虐待													0		
		苦情			(1)										0	-1	
		事故	12(11)	11(9)	1(13)	13(6)	10(7)	6(1)	8(10)	5(5)	18(12)	13(1)	3(5)	5	105	+25	
		ヒヤリ	6	9(5)	8	12(1)	62(1)	51(7)	35(23)	25(25)	11(2)	4	13	9	245	+229	
	宙	虐待															
		苦情															
		事故	5	3	5	10	8	8	6	7	5	2	4	2	65		
		ヒヤリ	2	11	11	5	15	19	13	25	16	18	14	8	157		

・虐待2件の内容

虐待通報内容	対応
飯田市所管 11/5 飯田市より「利用者さんが虐待を受けている」と通報があったと通告がある。	11/5 虐待委員会による対象者への聞き取りを行う。 (事実を認め、利用者への謝罪を行う) 11/8 飯田市担当者による訪問調査。 (虐待には値しないと判断した、との連絡あり。) 11/20 虐待委員会による関係利用者、職員への聞き取りを行う。 1/17 学園で虐待防止研修会実施 1/20 園内での聞き取り内容を受け、課題と対策を園長に報告。 2/25

	<p>第三者委員へ報告 3/25 報告書を市町村へ提出。</p>
<p>松本市所管 11/15 飯田市より「利用者さんが日常的に虐待を受けている」と通報があったと通告がある。</p>	<p>11/19、26 虐待委員会による対象者への聞き取りを行う。 11/21 飯田市担当者による訪問調査。 (対象利用者が松本出身のため、所管が松本市へ変更となる) 12/9 松本市担当者による訪問調査。 1/9 松本市より、文書による改善計画書の提出依頼あり。 1/17 学園で虐待防止研修会実施 1/20 園内での聞き取り内容を受け、課題と対策を園長に報告。 1/22 報告書を松本市へ提出。</p>

・ヒヤリハットの主な内容

ヒヤリハット内容	改善策
<p>薬がしまっているキャビネットの鍵が未施錠であった。 紛失、誤服薬などの恐れ。</p>	<p>その場ですぐに施錠。 職員会議で施錠の徹底を確認。</p>
<p>食後の服薬をする前に食堂から出て行ってしまふ。 紛失、誤服薬の恐れ。</p>	<p>フロアで服薬してもらう。 食後の声かけ、一日の服薬スケジュール確認の徹底。</p>
<p>食後、椅子から立ち上がる際に足がもつれふらつく。転倒し、けがの恐れ。</p>	<p>すぐに支え、転倒はしなかった。 座る際だけでなく立ち上がりの介助にも細心の注意を払う。</p>
<p>他の利用者用の食事をもっていってしまう。刻み食対応などの違いがあるため誤嚥、窒息の恐れ。</p>	<p>すぐに取り換える。 配膳時は職員がマンツーマンでつくようにする。</p>

・職員のメンタルケア、健康推進

① メンタルチェック

職業性ストレスチェック実施センターに委託し、2020.1.8~1.31の間、職員のメンタルチェックを実施しました。相談の必要がある場合は、産業医へ本人が直接申し込めるシステムとなっています。

結果 職員70名受験 内、高ストレス者17名 面接希望者0名

② 職員のメンタルの相談機能を持つ専門機関に委託しました。(メンタルヘルスサポート)

「障がい福祉現場における人材確保、人材育成、職場定着は最重要課題である。本協議会は、職場で相談できる人がいない、家族や友達、仲間にも話すことができない、上司に分かってもらえない、部下との人間関係に悩む、相談したいけど秘密が守られるか等の心配に対して、悩みに耳を傾け、一緒に考える場を設けることで、職員のメンタルヘルスケアの推進を図るものとする。」

元年度 明星学園巡回相談 ・10月4日 女性3名 ・12月9日 女性3名

③健康推進を図るため、フィットネスクラブに法人が加入し、利用を促進しています。

<メンタルヘルスサポート組織>

飯田下伊那の障がい者関係の5施設が加入し「飯伊圏域メンタルヘルスサポート協議会」を設置(平成27年10月1日)

<相談委託先>

一般社団法人日本カウンセラー協会 上信越支部長野事務所

経費 相談料 30,000円 出張費 実費(約13,000円) 経費は、5施設で負担

令和元年度 実績

月	相談者数	男性	女性
10月	3名	0名	3名
12月	3名	1名	2名
1月	6名	1名	5名
2月	3名	2名	1名
合計	15名	4名	11名

※ 所属先、相談内容、職員名は秘密事項であり事務局(学園)ではわかりません。
(平成30年度実績 延べ36名)

○明星学園職員の年休取得率

元年度 79% (パート職員87%)
30年度 78% (パート職員92%)
29年度 74% (パート職員89%)

2 グループホーム（北方のぞみハイツ・北方日の出ホーム）

<運営方針>

北方のぞみハイツ、平成29年7月に開所した北方日の出ホームは、地域の一員として社会生活が送れるよう支援を実施。

余暇活動の充実や、地域行事への積極的な参加・交流を促進し、家庭的で風土色豊かなホーム環境づくりなどに力を入れ、利用者にとってより良い生活環境の提供を目指し、本体施設と連携強化を図った。

<主な事業>

学園で大きな行事が催される時は、余暇を利用して学園の行事に参加。

（各種スポーツ大会、きらめき祭、クリスマス会等）

南信州広域連合自立支援協議会の催しや地域行事等に積極的参加を応援しています。

- ・グループホーム利用者交流会（豊丘村ゆめあて） 5/19 10名参加
- ・地域交流 焼き肉大会（地域住民の方を招待） 9/22 9名参加
- ・忘年会（中華料理店） 12/14 10名参加
- ・新年会（平谷村ひまわりの湯） 2/15 9名参加
- ・旅行（第二明星学園の利用者との計画に併せて実施）
6/18・19、8/23・24、10/11・12、12/10・13、2/12・13
（大阪UFJ、プロ野球観戦、太秦映画村、ディズニーランド）

3 指定特定相談支援事業所（明星学園一番星、第二明星学園一番星）

事業所在地 明星学園及び第二明星学園内

<運営方針>

社会福祉法人明星会 指定特定相談支援事業所 明星学園一番星及び第二明星学園一番星は、次の事項に配慮し公正かつ中立な事業運営を実施

- ①利用者の意向を踏まえ、自立した日常生活、社会生活を実現するよう努めた。
- ②利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者の選択に基づき、地域生活に移行するための活動に関する支援、常時の連絡体制の確保、障がい特性に起因して生じた緊急事態等に速やかに対応する等、必要な支援を適切におこなった。
- ③利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立った相談支援の提供に努めた。
- ④自らその提供する指定特定相談支援の評価を行い、常にその改善を図るよう努めた。

<相談実績>

明星学園一番星 対象者71名（第二明星学園入所者、通所者及びグループホーム入居者）
職員7名（常勤5名、パート2名）
モニタリング78件（更新）サービス利用計画 23件
区分認定調査23件（令和元年度）

第二明星学園一番星 対象者38名（明星学園入所者及び通所者）

職員5名（常勤5名）

モニタリング42件（更新）サービス利用計画 21件

区分認定調査21件（令和元年度）

※ 令和元年度は、通常のモニタリングに加え、3年に1度行なわれる区分認定更新に係るサービス利用計画の見直しを行なった。

2 明星保育園

1 保育方針

- 乳幼児期でないと経験できない学びを十二分体験にする。
- 実体験を通して、様々なことに興味を持ち、主体的に取り組み、工夫し、粘り強くチャレンジする気持ちを育てる。又、子どもたちの試行錯誤する時間と空間のゆとりを保障する。
- ありのままの個性を受け入れられ、人から大切にされ、尊重される経験を通じて、人を思い、人のために役立ちたいという気持ちを育てる。
- 地域の人々、障がいのある人々との交流を通じていろいろな人との関わりを持ち、様々な生活があることに思いを寄せることが出来るようにする。

保育の基本は、家庭や地域社会と連携を密にして家庭養育の補完を行い、子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動できるようにすることにより、健康な心身の発達を図るところにあります。

2 保育目標

- 自分で考えて自ら動ける子ども
- 思いやりの心を持つ子ども

3 事業概要（別紙② 年間報告書参照）

① 保育所入所利用者への支援

- ・子ども一人ひとりの成長や、個性に合わせたきめ細かい支援とともに、保育内容の充実を図った。
- ・仮園舎での生活に不安を抱くことのないよう、できるだけ本園舎の環境に近づけるために鳥小屋を持ち込むなどの配慮をした。
- ・子どもの健やかな育成を目指し養護と教育の一体化を図るため、年間指導計画に基づき、月案、日案を作成し実践した。
- ・信州やまほいく（信州自然型保育：豊かな自然を享受し体験的な保育、教育を推進する長野県の制度）を活用し、自然体験や地域交流を兼ねた米作り、芋作りを行った。また、日々の散歩や夏野菜の栽培を通じ、自然や生き物の生態の成長を実感できるように取り組み、草花、虫、水、木の実、落ち葉、氷などで季節に応じた自由遊びを楽しんだり、異年齢との関わりの中で遊び方やコミュニケーションの図り方を学び合ったりすることができた。整備されたわくわく山へは、年長児と年中児が出かけて行き、栗拾いやどんぐり拾いなどを楽しんだ。活動内容については、その都度信州やまほいく等のブログやお便りを通じて、

今後も発信していく。

内容等については、その都度信州やまほいくのブログ等を通じて今後も発信していく。

② 外部講師による保育活動の状況 令和元年度

特色ある保育の一環として、専門講師による活動を行った。子ども達が遊びの中で身体の使い方や、豊かな感性と創造力を発揮し表現することの楽しさを味わえるよう、子ども主体で行える内容を盛り込んだ。

活動名	対象児童	講師	実施回数
絵画活動	2歳児以上	飯田美術研究所 桐生 好先生	22
リトミック	2歳児以上	音楽教室主宰 熊谷 暁代先生	23
運動遊び	3歳児以上	子ども身体運動発達指導者 牧内 達夫先生	9

4 保護者の就労等及び家庭教育を補完した子どもの健やかな育成支援

家庭的な安定した環境の中で、子ども達は互いに影響し合い、その触れ合いの中から考える力や他人と関わる力を身につける。そこには、自分らしく誰もが安心して暮らせる時が流れ、四季折々の自然に触れ、小動物とのかかわりを持ち、行事、伝統文化などの本物に触れる機会や、労働を学び合うなどの様々な体験を共有し、豊かに生きる力を育てることに繋がる。また、子どもは子どもだけで幸せになれることなどあり得ない。子どもを取り巻く家族みんなが幸せになるために、保護者の就労と子育てをしっかりと支えることを実施した。

○産前産後保育・・・5人

○障がい児保育事業（発達障がい児への配慮及び対応）

- ・支援を必要とする子どもを積極的に受け入れた。
- ・個別指導計画を作成し一人ひとりに適した保育を提供した。
- ・他機関との連携を密にし、情報共有に心がけた。
- ・保護者との面談を行うなど、その時々の子どもの現状に即した支援を行えるよう保護者との連携を密にした。
- ・クールダウンができる場所を確保し、安心した生活が送れるよう配慮した。
- ・行事参加について検討し、無理のない形での参加を試みた。

□飯田市障害児保育事業の対象者の推移

区分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
年長	1	4	5	5
年中	4	4	3	4
年少	2	3	4	1

2歳児	2	0	1	1
1歳児	0	1	1	0
合計	9	12	14	11

保護者の承諾が難しいケースについては、認定申請書の提出はできない。保護者の承諾を得られないケースを含めると、更に7名が追加となる。

○延長保育事業

・令和元年度 利用者人数延べ 10,024 人

□延長保育事業の利用状況

月	標準利用時間	標準・短時間利用時間			合計
	7時30分～8時	16時～17時	～18時	～19時	
4月	123	183	373	105	661
5月	150	221	451	103	775
6月	177	190	440	116	746
7月	187	198	478	120	796
8月	171	173	415	90	678
9月	166	227	450	117	794
10月	173	323	529	197	1049
11月	174	263	542	129	934
12月	156	270	502	198	970
1月	165	223	501	140	864
2月	154	228	454	161	843
3月	200	211	518	185	914
合計	1,996	2,710	5,653	1,661	10,024

10月からスタートした幼児保育料の無償化により、短時間保育から標準時間保育への変更が増加した。保護者のニーズに応えつつ、保育の長時間化による子どもの負担軽減に配慮し、できる限り緊張感の少ない保育内容や保育環境となるよう工夫した。

5 チームによる保育体制の充実

・チーム保育の理解を深めるための研修を実施した。

○講師 長野県地域支援向上スーパーバイザー

日本相談支援専門員協会顧問 福岡 寿

○研修内容 「クラス作りの助言」

○研修実施回数 3回

○インクルーシブ保育について、方向性の統一を図るための研修を実施した。

○子ども主体の保育について、研究保育のプロセスの中で周知を図った。

6 食育の環境の整備等

5領域との相関性を構築し、食育計画が示す子ども像を基に食育活動を行った。又、調理と現場との連携を密にし、子どもの姿に即した配慮を行った。

○栄養士と保育士による給食検討委員会を開催し、園児の個別の状況にあわせた支援

や保護者の要望に反映できるように意識し良質な食事の提供を行った。

- 離乳食について、対象児の月齢や発達状況にきめ細かく対応した。また、アレルギーをもつ園児については、献立表を保護者に事前チェックしていただき、配膳はアレルギーの園児専用の食器、トレーを用意し誤食がないよう職員間でチェック体制を整えた。
- 栄養士と保育士と連携を図りながら、園児のその日の体調に合わせた献立や個人の嗜好を考慮しながら好き嫌いなく食べられるように食材や調理の工夫に努めた。
- 子どもの日やひな祭りなどの行事食に合わせた伝統的な食事や手作りおやつを用意し、子どもたちが習わしや文化を楽しく、おいしく体験できるように配慮した。
- 食材はできるだけ地産地消に努め、信州の郷土料理や地域性や季節感のある食事やおやつを提供した。
- 米作りを行い、収穫したお米で保護者と一緒に五平餅作りを行った。U字溝に網を乗せて火をおこし五平餅を焼く体験は初めてだったが、親子で楽しみながら行えた。

7 危機管理 防災・防犯訓練、交通安全教室

非常事態に備え、必ず実施訓練を取り入れた。防災頭巾着用については、子ども達の抵抗を少なくするために、普段の生活の中で着脱ができるよう経験を積み重ねた。又、仮園舎での避難経路の作成や確認を行い周知した。

○地震防災訓練

- ・実施日：9月2日
- ・内容：職員の緊急連絡網、保護者へのメール、シェイクアウト訓練、引渡し訓練

○避難訓練

- ・実施回数：12回
- ・内容：シェイクアウト訓練、避難訓練、消火器訓練

○防犯訓練

- ・実施日（9月4日）（10月29日）
- ・内容：避難訓練、さすまた使用訓練・飯田警察署おまわりさん講話

○交通安全教室

- ・実施日（6月17日）（10月30日）
- ・内容：名古屋交番お巡りさんによる講話 実地指導（実際の歩道を歩く）

8 地域の実態に対応した保育事業

地域に根づいた子育て支援の専門家として、地域の子どもの育ちに貢献するため一時的に保育を必要とする家庭への預かり保育や、未就園児交流の中での育児相談などを行った。又、関係機関との連携については、子どもの特性などによる育てにくさや、母親の幼少期の環境や育ちが影響しての虐待ケースもあり、両親もしくは母親との面談を重ねながら、子育て不安を少しでも解消できるように取り組んだ。

- 一時預かり保育事業（地域の子どもに対する一時預かり）

□一時預かり保育事業の利用状況

月	利用人数	延べ利用日数		
		4時間未満	4時間以上	合計
4月	5	3	3	6
5月	1	0	1	1
6月	1	1	0	1
7月	1	1	0	1
8月	2	2	0	2
9月	2	2	0	2
10月	0	0	0	0
11月	1	1	0	1
12月	1	1	0	1
1月	0	0	0	0
2月	0	0	0	0
3月	0	0	0	0
合計	14	11	4	15

一時預かり保育を希望する理由は、例年通り母親の受診や体調不良、兄弟関係の通院、自動車免許の更新などに加え、集団保育の機会を経験させたいという希望が7件あった。少子化や遊び場確保の難しさが背景にあると感じる。

○子育て支援地域活動事業（未就園児交流事業）「おひさまくらぶ」年間実績

実施日	主な内容	講師	参加人数
4/26	親子リトミック ・ウェルカムパーティー	熊谷暁代先生	18名
5/29	感触遊び スライム	—	54名
6/25	大型絵本・新聞紙遊び	—	21名
7/24	水遊び・感触遊び	—	19名
8/2	人形劇講演	人形芝居	166名
	親子リトミック ・保育園お食事体験	熊谷暁代先生	30名
9/21	運動会招待	—	40名
10/24	北方の空さんと交流 ・手作りおやつ(揚げない大学芋)	—	49名
11/20	作って遊ぼう ・おしゃべりカフェ	—	17名
12/16	クリスマスコンサート ・クリスマスケーキにトッピング	熊谷暁代先生	60名
1/16	パネルシアター・新聞紙遊び	—	17名
2/13	もうすぐ保育園（一日入園）	—	85名

仮園舎での未就園児交流だったが、大勢の方に参加いただけた。未就園児交流

参加者のうち1歳児1名、2歳児2名が途中入所に繋がった。

おしゃべりカフェでは、親から離れ子ども達が保育士のもとで遊び込めており、保護者同士がゆっくり会話を楽しめた。又、お食事体験に栄養士も参加し、食に関する育児相談の機会が持てた。

○世代間交流年間実績表

実施日	交流先	主な実施内容	参加人数 (お年寄り)
6/18	北方の空	ふれあい遊び	38 (3)
6/20	みつばさ	歌、ストレッチ・マジックショー	102 (7)
6/27	北方の空	歌、ふれあい遊び	118 (3)
7/22	みつばさ	歌、遊戯、ふれあい遊び	109 (7)
9/26	北方の空	歌、手遊び、遊戯、集合写真	41 (3)
9/30	みつばさ	歌、玉入れ、遊戯、プレゼント渡し	34 (8)
10/11	みつばさ	歌、遊戯、ふれあい遊び	36 (8)
10/24	北方の空	ゲーム、歌、プレゼント	50 (2)
11/8	みつばさ	太鼓演奏、信濃の国体操	103 (13)

感染症の時期を避けて、6月～11月の間で実施。

平成28年度からの取り組みで、顔なじみのおじいちゃんおばあちゃんからは、毎年楽しみにしているという声が聞かれた。特に和太鼓演奏は好評で、園庭付近で聴いていたご近所のお年寄りもお誘いして喜ばれた。

○地域等の関係機関との連携

- ・保育士の人材育成協力を目的に実習生の受け入れや、ボランティア等の受け入れを行った。
- ・実習生、ボランティア等の受け入れ実績

区分	人数	所属機関
実習生（保育士）	2	飯田女子短期大学・愛知江南短期大学
ボランティア	1	旭ヶ丘中学校

○関係機関との連携

- ・円滑な保育運営や利用者の支援にあたり、市町村、児童相談所、学校、医療機関、療育機関、療育機関とケア会議等を開催し、園児及び保護者を支えるネットワークを構築した。特に、飯田市こども発達支援センター「ひまわり」、飯田市立病院、健和会病院とは連携を密にし、統一的な支援に努めた。

□児童相談所との連携・・・虐待2ケース

- 飯田市子育て支援課との連携・・・虐待5 ケース
- 医療、療育機関との連携・・・健和会病院、飯田市立病院リハビリ（言語療法、作業療法）
- 研究保育 ○9/26（飯田市子育て支援課 保育専門指導員 長沼清子先生）
○11/26（飯田社会福祉事務所 保育専門相談員 宮島 忍先生）
- 飯田市巡回相談件数・・・4 件
- 飯田市こども発達支援センター「ひまわり」・・・ 2 件
- 見学者の受入と対応
 - ・入所希望者の見学・・・18 人
- 家庭との連携
 - ・個人面談、クラス懇談、保育参加、誕生日会参加などを実施するとともに、子ども一人ひとりの園での生活や成長の様子等をお知らせする「クラス便り」を週1回発行することにより、家族と多面的な協力関係を築くことができた。また、日常生活、遊びの様子などをホームページやブログを通じて視覚的に、リアルタイムで発信した結果、予想を超えるアクセス数があり、好評をいただいた。

◇ブログ発信回数

	アップ回数	トータルアクセス回数
4 月	6	
5 月	9	
6 月	6	
7 月	4	
8 月	2	
9 月	7	
10 月	6	
11 月	8	
12 月	1	
1 月	0	
2 月	3	
3 月	5	
合計	57	

新型コロナウイルス感染防止策として、飯田市からの登園自粛の要請に対し、約過半数の家庭にご協力いただいた。

ブログ内容は、家庭保育を実施していただく保護者向けに、手作り玩具や手作りおやつを紹介をした。各家庭からは、「お父さんがブログを参考にして、手作りおもちゃや手作りおやつに挑戦した」「子どもと過ごすのに手作りバージョンが、コミュニケーションツールになった」など感想が寄せられた。

- ・クラス便り発行数・・・年長 46 回、年中 33 回、年少 24 回、2 歳児 31 回、1 歳児 24 回
0 歳児 31 回

○小学校入学への円滑な移行

- ・個別支援計画に沿って、関係機関と連携し小学校入学に向けた途切れのない支援を積極的に進めてきた。
- ・就学判断・・・2名

9 ヒヤリハット報告及び医療事故報告

ヒヤリハット報告には、偶然にして大怪我に至らなかったケースについても報告し計上した。特に複数の保育士が関わっている場面の方が怪我に繋がりやすい傾向にあることが分かった。保育士の配置場所については、お互い声を掛け合って確認するよう周知した。

○ヒヤリハットの報告内容

危険度レベル	件数	主な内容	改善策
なし	0	—	—
極めて低い	0	—	—
低い	9	水分補給のため椅子に座っていたところ、水筒を持ちながら椅子に立っていたため、椅子から落ちそうになる。	誘導職員が全体をよく見る。椅子には立たない。水筒は座って飲むことを繰り返し伝えていく。
高い	2	登りロープにつかまり遊んでいて、手を離し落ちて腰と頭をぶつける。(仮園舎) 大けがにならずに済んだ。	1番初めに出るグループの時は必ず2人の保育士が付き、遊ぶ場所が分かれてもそれぞれの場所につけるよう配慮した。
緊急対応	0	—	—
その他		—	—
合計	11		

○医療事故報告数

区分	年長	年中	年少	2歳児	0・1歳児
保育室	0	0	0	0	0
園庭・テラス	1	1	2	0	1
戸外	0	0	0	0	0
合計	1	1	2	0	1

事故の内容

区分	ひっかき	かみつき	打撲・捻挫	脱臼・虫刺され・その他
未満児	0	0	0	1
幼児	0	0	3	1

10 苦情処理

月日	内容	対応
6/4	つぼみ(0歳児)組職員の朝の受け入れ時の対応が冷たいと、メールで寄せられた。	・母親にお詫びをする。クラス会で事実確認をする。他園から転入した園児。慣れるまで丁寧な対応と受け入れを行う。 ・職員の配置を明確にする。
7/31	炎天下、園庭に年少用のテントが張られてないと、父親から電話で伝えられた。	・クラスごとのテントではないことや、木陰がない場所にテントの対応をしていると伝え、お便りでも周知して頂く。 ・その後父親からは、「説明をありがとうございました」と連絡があった。

○第三者委員

- ・第三者委員へ依頼する事案はなし。

11 職員の資質向上

質の高い保育を展開するため、一人ひとりの職員の悩みに園長・主任で対応した。各々の職員の資質向上及び職員全体の専門性の向上を図るため研修計画を作成し実施。結果は、伝達したり実践として保育に活かした。又、園内外の研修や各委員会を設置し資質向上に努めた。

- 質の高い保育を展開するため、絶えず、一人一人の職員について資質向上及び職員全体の専門性の向上を図るため、園内外の研修や各委員会を設置し資質向上に努めた。

○園内研修（福岡寿先生）

月 日	内 容
7/8	年少保育参観 カンファレンス
7/25	年長、年中、保育参観 カンファレンス
2/10	2歳児保育参観 カンファレンス

○園外研修

	研修名	参加人数（名）
4月26日	日本保育協会長野県支部	1
6月13日	保育所保育士研修会	3
6月25日	防火管理研修会	1
7月6日	障がい児保育研修会	5
7月6日	南信子育て塾	4
7月7日	障がい児保育研修会	5
7月17日	給食従事者研修会	1

7月18日	キャリアアップ研修会	4
7月24日	新任保育士研修会	1
7月27日	キャリアアップ研修会	3
7月29日	キャリアアップ研修会	2
8月3日	キャリアアップ研修会	2
8月8日	キャリアアップ研修会	1
8月9日	児童福祉施設栄養士等研修会	1
9月3日	キャリアアップ研修会	1
9月15日	信州やま保育研修会	5
10月12日	長野県保育大会	6
10月13日	長野県保育大会	6
10月16日	保育所給食担当者研修	1
10月19日	キャリアアップ研修会	1
10月21日	人権教育研修会	1
11月5日	こども虐待に関する研修会	6
12月6日	キャリアアップ研修会	3
12月20日	キャリアアップ研修会	1
1月19日	信州やま保育研修会	5
2月2日	発達支援研修会	2

○管理運営委員会

委員会名	目的・実施項目	開催回数
職員会	<ul style="list-style-type: none"> ○遊びの質的向上について検討 ○保育記録が保護者への情報発信として有効活用されているか見直し ○各行事の必要性と内容について検討 ○人権保育マニュアルの読み合わせと、豊かな人権感覚に根ざした保育について周知 ○個別支援の取り組みについて、事例に基づき支援方法を学ぶ ○未満児保育改革の具体的内容の検討 	17回
クラス主任会	<ul style="list-style-type: none"> ○保育並びに環境作り、個別支援・クラス作り ○行事の方向性とアウトラインの調整 	12回
クラス会	<ul style="list-style-type: none"> ○クラス内の連携をとり問題解決を図り、クラス主任会へつなげる。 	72回

給食検討委員会	○アレルギー、離乳食の進め方の内容検討。 献立の見直し	幼児 12 回 未満児 12 回
業務改善委員会	○職場環境の改善、より良い保育サービスの提供するための内容検討、働き方改革	6 回
防火防犯委員会	○消防計画に基づき事故事件を未然に防ぐことを目的として内容検討	12 回
衛生委員会	○職員の健康障害防止、健康増進の内容検討	8 回
人材育成委員会	○新人教育の義務化、資質向上について内容検討、自己評価と次年度に向けての課題	10 回
人権倫理委員会	○虐待・人権についての内容把握、チェックリストの活用と振り返り	12 回
リスクマネジメント委員会	○職員の危機管理の意識、質の向上・マニュアルの対応などの内容検討。	12 回

○明星会 社会貢献事業

○学園

- ・つなぐ事業（飯田市後援）
学生に地元企業を PR し、大学等卒業後、地元にもどり就職するようにすることを目的に参加企業を募っている。
学園では、松川高校で出前講座を実施、進路授業の中で企業説明を行った。
- ・合同ケース研究会の主催
障害者のケース研究を明星学園が主となり、障害者施設、児童施設、医師養護学校等一般の興味がある方等広い範囲の人々で障害者のケース検討会を実施している。
- ・地区のゴミ当番
学園の地元、新井原地区のごみ収集日に、学園職員が立ち会い当番を受け持つようにしている。（元年度より）
- ・地区浄化槽組合の環境美化

毎年、地区の浄化槽周辺の美化を組合の当番に従って参加している。

・ 障害者雇用の推進

身体・知的障がい者の雇用に努めている。法定基準はクリアしています。
現在5名 また、難病指定の方を雇用している。

○保育園

・ 卒園生の集い

卒園児の1年生～6年生までを対象にカレーパーティーを開催し77名が参加した。ゲームの後、グループを作ってカレーを食べながら、保育園の頃の懐かしい話題で盛り上がった。卒園児が集まる場所として、これだけ多数の子ども達が集まるケースは他園にはなく、明星保育園ならではの事業として今後も継続して行っていきたい。

・ ふるさと鼎ふれあい広場文化祭参加

毎年恒例である和太鼓演奏で、年長児23名が参加した。演奏披露の場所が限られているため、子ども達にとっても貴重な経験となっている。にじぐみによる共同作品を出展した。

・ 下茶屋区民運動会で、園庭開放と道具の貸し出しを行った。

下茶屋地区の仮園舎での生活であったため、10月13日(日)に行われた区民運動会で場所の提供及び、平均台、ボール、デカパン、玉入れ、綱引き、フープ、ライン引き、万国旗等の備品貸し出しを行った。

◎資料

1 法人の運営する事業所の概要

(1) 明星学園

ア 所在地	飯田市駄科2250番地		
イ 事業所の種類	障害者支援施設		
ウ サービスの種類	生活介護サービス	定員 40名	現員 40名
	施設入所支援サービス	定員 40名	現員 40名
	短期入所サービス（併設型）	定員 4名	現員 3名
エ 建物 延べ床面積	1,842㎡	オ 敷地面積	6,015㎡

(2) 第二明星学園

ア 所在地	飯田市駄科2191番地1		
イ 事業所の種類	障害者支援施設		
ウ サービスの種類	生活介護サービス	定員 68名	現員 65名
	施設入所支援サービス	定員 60名	現員 60名
	短期入所サービス（併設型）	定員 1名	現員 名
エ 建物 延べ床面積	3,673㎡	オ 敷地面積	7,156㎡

(3) 明星保育園

ア 所在地	飯田市鼎切石3928		
イ 事業所の種類	保育所		
ウ サービスの種類	保育所	定員 120名	
	未満児保育	定員 一名	
	延長保育	定員 一名	
	一時預かり事業	定員 一名	
エ 建物 延べ床面積	1,105㎡	オ 敷地面積	2,680㎡

(4) グループホーム（北方のぞみハイツ、北方日の出ホーム）

サービスの種類	共同生活援助 2棟		
	（北方のぞみハイツ）	定員 4名	現員 4名
	（北方日の出ホーム）	定員 6名	現員 6名
・北方のぞみハイツ	飯田市北方68番地7	延べ床面積	183.2㎡
・北方日の出ホーム	飯田市北方61番地7	延べ床面積	171.4㎡

(5) 特定相談支援事業所（明星学園一番星、第二明星学園一番星）

サービスの種類	特定相談支援事業所		
	明星学園一番星	契約利用者 60名	
	第二明星学園一番星	契約利用者 50名	
所在地は（建物、敷地）明星学園及び第二明星学園内			

2 事業所毎の職員体制

明星学園		元年度		30年度	
園長	1名	園長	1名	園長	1名
次長	1名	次長	1名	次長	1名
事務長	1名(兼務)	事務長	1名(兼務)	事務長	1名(兼務)
主任	2名	主任	2名	主任	2名
生活支援員	20名	生活支援員	18名	生活支援員	18名
支援員(パート)	11名	支援員(パート)	11名	支援員(パート)	11名
事務員	1名	事務員	1名	事務員	1名
看護師	1名	看護師	1名	看護師	1名
栄養士	1名(兼務)	栄養士	1名(兼務)	栄養士	1名(兼務)
パート	7名	パート	7名	パート	7名
計	46名(兼務2)	計	44名(兼務2)	計	44名(兼務2)

第二明星学園		元年度		30年度	
園長	1名(兼務)	園長	1名(兼務)	園長	1名(兼務)
次長	1名(兼務)	次長	1名(兼務)	次長	1名(兼務)
事務長	1名	事務長	1名	事務長	1名
主任	3名	主任	2名	主任	2名
生活支援員	28名	生活支援員	28名	生活支援員	28名
支援員(パート)	11名	支援員(パート)	11名	支援員(パート)	11名
事務員	1名	事務員	1名	事務員	1名
看護師	1名	看護師	1名	看護師	1名
栄養士	1名	栄養士	1名	栄養士	1名
パート	8名	パート	9名	パート	9名
計	56名(兼務2)	計	56名(兼務2)	計	56名(兼務2)

グループホーム		元年度		30年度	
管理者	1名(兼務)	管理者	1名(兼務)	管理者	1名(兼務)
次長	1名(兼務)	次長	1名(兼務)	次長	1名(兼務)
事務主任	1名(兼務)	事務長	1名(兼務)	事務長	1名(兼務)
主任	1名(兼務)	主任	1名(兼務)	主任	1名(兼務)
事務員	1名(兼務)	事務員	1名(兼務)	事務員	1名(兼務)
世話人	5名	世話人	5名	世話人	5名
パート	8名	パート	8名	パート	8名
計	18名(兼務5)	計	18名(兼務5)	計	18名(兼務5)

特定相談支援事業所（明星学園一番星）

元年度		30年度	
所長	1名（兼務）	所長	1名（兼務）
次長	1名（兼務）	次長	1名（兼務）
事務長	1名（兼務）	事務長	1名（兼務）
運営委員長	1名（兼務）	運営委員長	1名（兼務）
相談支援専門員	5名（兼務5）	相談支援専門員	7名（兼務7）
事務員	1名（兼務）	事務員	1名（兼務）
計	10名（兼務10）	計	12名（兼務12）

特定相談支援事業所（第二明星学園一番星）

元年度		30年度	
所長	1名（兼務）	所長	1名（兼務）
次長	1名（兼務）	次長	1名（兼務）
事務長	1名（兼務）	事務長	1名（兼務）
運営委員長	1名（兼務）	運営委員長	1名（兼務）
相談支援専門員	6名（兼務6）	相談支援専門員	6名（兼務6）
事務員	1名（兼務）	事務員	1名（兼務）
計	11名（兼務11）	計	11名（兼務11）

明星保育園

	元年度	30年度
園長	1名	1名
副園長	0名	2名
主任	1名	1名
副主任	1名	0名
保育士（正職）	10名	10名
保育士（パート）	5名	6名
保育士（派遣）	1名	0名
看護師（パート）	1名	0名
事務員	3名	3名
栄養士	1名	1名
調理師	1名	1名
パート	3名	3名
計	28名	28名

3 利用者・園児の状況

○明星学園・第二明星学園

令和2年3月31日現在

<支援区分別>

(単位：人)

支援区分	明星学園		第二明星学園	
	生活介護	施設入所支援	生活介護	施設入所支援
区分 6	28	27 (9)	29	28 (13)
区分 5	11	11 (25)	29	25 (16)
区分 4	3	2 (7)	11	7 (22)
区分 3	0	0 (0)	4	1 (4)
区分 2	0	0 (1)	2	0 (2)
区分 1	0	0 (1)	0	0 (0)
合計	42	40 (42)	75	61 (57)

平均支援区分	明星学園		第二明星学園	
	生活介護	施設入所支援	生活介護	施設入所支援
	5.60	5.63 (5.14)	5.05	5.31 (3.70)

() は、平成23年度のデータです。

<出身市町村>

明星学園

施設入所

(単位：人)

飯田市	伊那市	駒ヶ根市	松本市	阿南町	高森町	阿智村	南木曾町
9	6	4	2	2	1	1	1
塩尻市	岡谷市	松川町	諏訪市	須坂市	下條村	川上村	泰阜村
1	1	1	1	1	1	1	1
大鹿村	大町市	天龍村	飯島町	豊丘村	安曇野市	計	
1	1	1	1	1	1	40	

第二明星学園

施設入所

(単位：人)

飯田市	伊那市	岡谷市	松本市	諏訪市	塩尻市	千曲市	茅野市
17	6	4	1	3	2	1	2
松川町	泰阜村	大町市	辰野町	駒ヶ根市	下諏訪町	原村	小布施町
2	1	1	2	2	1	1	1
高森町	信濃町	大桑村	中川村	天龍村	下條村	飯島町	阿智村
2	1	1	1	1	4	1	2
南箕輪村	計						
1	61						

※出身市町村の状況

	飯田下伊那市町村	その他の市町村	人数
令和 元年	47.5%	52.5%	101人
平成23年	46.5%	53.5%	99人

<平均年齢>

	明星学園			第二明星学園		
	男性	女性	計	男性	女性	計
人数	24人	16人	40人	39人	22人	61人
平均年齢	46.0歳	45.3歳	45.7歳	50.9歳	53.7歳	51.1歳

<強度行動障害者>

明星学園 + 第二明星学園			
	男性	女性	計
人数	63人	38人	101人
平均年齢	48.1歳	46.9歳	49.0歳

明星学園	第二明星学園
12人	15人

入所者最高齢 : 85歳 (男性)
最年少 : 22歳 (女性)

グループホーム

①支援区分別 (単位:人)

支援区分	共同生活援助
区分5	1
区分4	4
区分3	3
区分2	2
合計	10

③ 出身地の状況

出身市町村 (単位:人)

飯田市	阿智村	豊丘村	大鹿村	泰阜村	喬木村	横浜市	計
4	1	1	1	1	1	1	10

<平均年齢>

GH			
	男性	女性	計
人数	8人	2人	10人
平均年齢	58.4歳	65.0歳	59.7歳

入居者最高齢 : 73歳 (女性) 最年少 : 49歳 (男性)

◎明星保育園 園児の状況

地区別在籍人数（平成31年4月1日現在）

地区		年長	年中	年少	2歳児	1歳児	0歳児	
		にじ	つき	ほし	つくし	つぼみ 1	つぼみ 0	計
園児数		24	30	23	22	16	4	119
県	切石	7	11	5	9	1	2	35
	上山	3	5	3	3	2		16
	中平	4	3	5	1	1		14
	下山	1			2			3
	上茶屋	1	1			1		3
	下茶屋							0
	一色	1		2	2	2	2	9
	名古熊	2		1	1			4
	西県	1						1
伊賀良	北方	1	1	2	1	3		8
	大瀬木		3			1		4
	下殿岡			2				2
	三日市場					1		1
山本	山本				1		1	
上郷	別府	1		1				2
市内	羽場		1					1
	滝の沢		1					1
	丸山		1					1
	松尾		1	1	1	2		5
	八幡町					1		1
	駄科		2			1		3
	川路	1						1
	下久堅	1			1			2
	桐林			1				1
	座光寺							0
計		24	30	23	22	16	4	119

保育種別人数（平成31年4月1日現在）

	4歳児以上	3歳児	2歳児	1歳児	0歳児	小計	合計
標準保育	15	7	5	5	2	41	119
短時間保育	39	16	17	11	2	79	

園児の利用実績

令和元年度園児数の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	4	4	4	5	6	7	7	7	8	8	9	8
1歳児	16	17	17	17	17	18	18	18	18	18	18	17
2歳児	22	22	22	23	23	23	24	24	24	23	23	23
3歳児	23	24	24	22	21	21	21	21	24	24	24	24
4歳児	30	29	29	29	30	30	30	30	30	30	30	30
5歳児	24	24	23	23	22	22	22	22	22	22	22	22
合計	119	120	119	119	119	121	122	122	123	122	123	120

※0歳児養護の要件が外れるため、6月30日付けで退所して認定こども園へ入園したケースが2ケースあった。

経年の園児数の推移 平成26年度～令和元年度（各年度4月当初・3月末及び増減）

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計	以上児 割合	未満児 割合	以上児 人数	未満児 人数
		2014年 平成26年度	4月	4	17	20	30	28	30	129	68%	32%
	3月	4	17	20	30	28	30	129	68%	32%	88	41
	増減	0	0	0	0	0	0	0			0	0
2015年 平成27年度	4月	12	18	24	17	30	20	121	55%	45%	67	54
	3月	12	18	24	17	30	20	121	55%	45%	67	54
	増減	0	0	0	0	0	0	0			0	0
2016年 平成28年度	4月	2	17	20	25	27	30	121	67%	33%	82	39
	3月	7	16	19	25	26	30	123	66%	34%	81	42
	増減	5	-1	-1	0	-1	0	2			-1	3
2017年 平成29年度	4月	2	14	20	23	25	25	109	67%	33%	73	36
	3月	8	19	20	24	25	24	120	61%	39%	73	47
	増減	6	5	0	1	0	-1	11			0	11
2018年 平成30年度	4月	1	16	22	31	25	25	120	68%	32%	81	39
	3月	9	20	21	30	25	24	129	61%	39%	79	50
	増減	8	4	-1	-1	0	-1	9			-2	11
2019年 平成31年度	4月	4	16	22	23	30	24	119	65%	35%	77	42
	3月	8	17	23	20	30	22	120	60%	40%	72	48
	増減	4	1	1	-3	0	-2	1			-5	6

行事等の写真

○明星学園のくらし・行事など



いも苗植え交流会



アート夏フェスタ



50周年記念式典



明星きらめき祭



猫カフェ体験



クラス旅行

◎保育園の行事など



さつまいもの苗植え 学園にて



運動会



世代間交流会



明星太鼓



体験活動 (ゆで卵)



もちつき